

目次

□巻頭言 青函トンネルと機械化施工……………松尾昭吾/1
 筑後大堰施工計画……………西原恒雄/3
 青函トンネルにおける先進ボーリングと
 水平ボーリングマシンの概要……………櫻澤 昇/8
 アーストンネルの新しい施工法の開発と実績
 —プレライニングサポート工法……………佐々木 宏/15
 東京電力今市発電所工事における
 油圧さく岩機による長孔発破……………大塚昌彦/24
 石田 義 昭

グラビヤ—本州四国連絡橋大鳴門橋主塔工事

大鳴門橋主塔工事の施工……………田中 淳之/31
 □随 想 熟年のスポーツ (サッカー OB インターハイ)
 ………………石川 正夫/40
 粉体噴射攪拌工法による地盤改良実験の概要……………稲葉 稔/42
 中内 正陽 三
 国際単位系 (SI) の紹介……………東 秀彦/47

□'81 建設機械の現状

4. せん孔機械およびトンネル掘進機

4.1 せん孔機械

4.1.1 さく岩機その他……………五十嵐 伊三郎/51
 4.1.2 ボーリングマシン……………五十嵐 伊三郎/53

4.2 トンネル掘進機

4.2.1 全断面掘削機械……………大田 宏/54
 4.2.2 自由断面掘削機械……………酒井 喜久雄/58
 4.2.3 NATM 工法用機械……………五十嵐 伊三郎/60

5. 骨材生産機械……………塚原 重美/62

6. コンクリート機械

6.1 コンクリートプラント……………成田 英一/69
 6.2 トラックミキサ……………勝守 滋夫/71
 6.3 コンクリートポンプ、ポンプ車……………木村 隆/73

□新機種ニュース……………調査部会/75

□文献調査

土工における掘削、敷きならし抵抗を
 予測するための模型実験……………文献調査委員会/79

□整備技術

オペの教育—重点は予防保全……………整備技術部会/83

□支部便り

「除雪に関する講習会」を開催……………中国支部/86

□統 計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
 ………………調査部会/87

行事一覧……………/88

編集後記……………(飯田・岡崎)/90

◀表紙写真説明▶

TCM 除雪ドーザ 180 S と
 TCM ロータリ除雪車 R 400

東洋運搬機株式会社

180 S は荷役装置がすべて油圧で操作できる
 18 t 級除雪ドーザである。ブレードの上昇高さは
 1 m と大きく、深雪の上段押し出しができ、ま
 たサイドスライド量は左 1 m、右 30 cm と大き
 く、雪堤の段切り、歩道から車道へ、あるいは
 歩道外側への排雪作業ができる。

R 400 は 200 馬力級と同等の小回りのできる
 400 馬力級ロータリ除雪車である。全幅除雪、
 拡幅除雪、積込除雪が可能なツーステージ型ロ
 ータリを備え、高速自動車道から府県市道に至
 る幅広い除雪作業ができる。

◀主な仕様▶

180 S

運転整備重量……………	18,300 kg
除雪幅 (アングリング時)……………	3,450 mm
定格出力 (ターボ付)……………	200 PS

R 400

運転整備重量……………	18,160 kg
最大除雪量……………	3,000 t/hr
除雪幅……………	2,600 mm
定格出力……………	360 PS